

### 3 図書館協議会による図書館運営全体に対する評価(委員長とりまとめ)

協議会は、県立図書館が引き続き目標以上の高い実績を上げていることを高く評価している。特に挙げられるのは、開かれた図書館、人の集まる図書館、親しまれる図書館に変容したこと、職員の対応が丁寧で、かつキビキビしていて好感が持てること、ホームページがとても見やすく、丁寧で、わかりやすいこと、ホームページの更新のタイミングもよく、連絡ごとにもスムーズに伝えることができていること、などである。また、ロビーのミニギャラリーをいつも楽しみにしているとの声もあった。

一方、次のような点が意見ないし要望・提言として挙げられている。

・電子図書館サービスは市町村への支援となることから、引き続き充実に努めてほしい。また、同サービスについて様々な機会に情報を提供していただきたい。

・文書館所属の古文書を含む地域資料・郷土資料の充実・提供に、引き続き努めてほしい。

・新たに導入されたサービスに比べて、市町村立図書館への支援等従来から重点とされてきたサービスの実績は今一步である。協力貸出を個人貸出並みに利用しやすくするとか、講師派遣等のサービスを充実させるとか、目標も指標も一層の工夫を望みたい。また、特に県内大学や高校への支援が忘れられているように感じる。連携協力におけるさまざまな課題を分析的に評価し、重点事業評価として県民に問うことも「図書館の将来」を考える上で重要ではないか。

・公開書庫はこれからもずっと続けてほしい。

・自転車置場が出来て嬉しい。今までの場所もバイク置場として確保してもらいたい。

・講演会では「当日席若干あり、先着順」として整理券を出したらどうか。

・新発田市では郵便物やホームページに有料広告を出している。県立図書館でも有料広告を検討してはどうか。

・「大規模災害時における都県立図書館相互の応援に関する申合せ」が行われたことは、たいへん意義のあることである。昨年東北大地震もさることながら、県内でも過去に何度も大きな災害が起こっている。被害状況を把握し、適切な支援が素早くできたことは、職員が変わっても風化されることのないよう、引き継がれていってほしい。

・館内は以前よりも幅広い年齢層が出入りするようになり、災害の際の素早い適切な誘導は不可欠である。職員には、防火・防災・災害対応の知識を全員が同じレベルで共有してほしい。

特に、評価指標に関連して、次のような意見があった。

・ここ数年の取組で、「県民に来てもらえる図書館」へのハード・ソフト両面での脱皮ははかれたであろうから、基礎的サービス評価から入館者数はずすこともあってよい。

・レファレンスサービスの指標を変えた点は評価したい。また、実績も上げている。ただ、質問回答の一般での認知度を考えると、単なる質問回答に留まらない情報アクセス支援等を指標化することも検討した方がよいと考える。